

教育長室からのお知らせ No. 86(令和 4 年 9 月)



教育長 田中 康寛

9月になりました。残暑厳しい2学期のスタートとなりますが、各園・学校には、子どもたちの笑顔と活気が戻ってきました。何点かお話し申し上げたいと思います。

まず、新型コロナウイルス感染症については、全国的に高い感染レベルが続いています。各園・学校では、基本的な感染対策を引き続き徹底し、感染拡大の防止と子どもたちの学びの継続の両立に努めてまいります。

9月1日は防災の日です。8月30日から9月5日の防災週間にあわせ、本市では9月3日に総合防災訓練が行われます。地域の防災拠点となっている市内38校の小学校と塩浜学園では、避難所設営訓練が予定されています。先日の台風では、全国各地で水害や土砂災害などが発生しました。子どもたちが地域の災害リスクを理解し、命を守るために主体的に考え行動できるようにしていくことが重要です。各園・学校で実践的な防災教育を進められるよう、地域の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

子どもたちは充実した夏休みを過ごせたでしょうか。この間のさまざまな体験や学びを、2学期にどう活かしていくのが重要です。子どもたちが取り組んできた自由研究などを見てみると、2学期の学習に結びつくもの、あるいは1学期の学習の発展になっているものがあります。教職員がそれらを日々の学習とのつながりを考えて意図的に授業に取り上げることにより、子どもたちの新たな学びや興味関心へのきっかけづくりになるよう努めてまいります。今年度の全国学力・学習状況調査では、理科の学習について全国的に課題が見られました。本市には長年理科教育に力を入れている学校があります。また、9月には市川市児童生徒科学展が開かれており、理科への関心意欲を高められる機会となっています。教職員の役割の一つは、子どもたちが仲間の取組などから興味を広げられるように、きっかけとなる場を設けることです。子どもたちの主体的な学びを夏休みの取組から開拓するとともに、教職員が研修会や講習会等をとおして身に付けた、自己の新たな教授法や授業改善を実践したり同僚と共有したりすることで、市川の教育の質の向上が図られるよう努めてまいります。

各学校では、自校の児童生徒の全国学力・学習状況調査の結果の分析に取り組んでいるところです。児童生徒の課題を把握するとともに、学校や教職員側の強みと弱みも明らかにし、学校全体で指導方法の改善に取り組んでまいります。

まだ残暑が続くと思われます。ご家庭でも子どもたちの体調管理に十分に留意していただきますようお願いいたします。夏休み中に蓄えた力が実り多い秋へとつながるよう、園・学校では、子どもたちの変化を見逃すことなく、適切な指導と支援により、子どもたちの成長をサポートしてまいります。